

主要事業の概要

福祉・保健

福祉水準・健康水準の
高い村づくり

高齢者や障害を持つ人々をはじめ、全ての住民が健康で生きがいを持ち、安心して暮らすことのできる社会の実現に向け、平成十一年度を目標年次として「岩室村社会福祉計画」を策定します。

また、家庭での介護機能が低下している現状を踏まえ、昨年度はホームヘルパーの増員、在宅介護支援センター（老人保健施設「いわろの里」内）の設置等を行ってきました。そこで、平成六年度においてもホームヘルプサービスの一層の充実を図り、要援護老人とその家族を積極的に支援していきます。また、昨年度



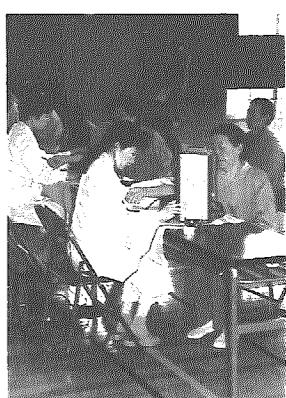
▲高齢化社会を迎えて
(ゲートボールで健康づくり)

社会福祉の充実

から弥彦村・分水町・岩室村の三町村で建設を進めてきました特別養護老人ホーム「桜井の里」が今月オープンします。これにより、現在村内で入所を希望している人全員が入所可能となります。

なお保育園（今年度入園希望者三百十四名）関係では、働く女性を支援する必要から未満児を積極的に受け入れるとともに、延長保育についても前年に引き続き実施します。また、複数多様化する児童家庭問題に積極的に対応するため、育児相談、育児講座等を実施していきます。

四名）関係では、働く女性を支援する必要から未満児を積極的に受け入れるとともに、延長保育についても前年に引き続き実施します。また、複数多様化する児童家庭問題に積極的に対応するため、育児相談、育児講座等を実施していきます。



▶早期発見・早期治療で健康管理！
(昨年の総合健診から)

施政方針

村議会第一回定期会において、鷲沢村長が述べた平成六年度施政方針の一部を抜粋したものです。

建設を進めてきました特別養護老人ホーム「桜井の里」が今月オープンします。

これにより、現在村内で入所を希望している人全員が入所可能となります。

なお保育園（今年度入園希望者三百十四名）関係では、働く女性を支援する必要から未満児を積極的に受け入れるとともに、延長保育についても前年に引き続き実施します。また、複数多様化する児童家庭問題に積極的に対応するため、育児相談、育児講座等を実施していきます。



本日ここに平成六年岩室村議会第一回定期会を開催し、平成六年度予算並びに諸案件を審議願うにあたり、施政方針の概要を申し上げ、村議会をはじめ村民各位のご理解とご協賛を賜りたいと存じます。

主な事業と予算額(千円)	
○ホームヘルプサービス事業委託料	14,525
○在宅介護支援センター運営事業委託料	10,633
○老人短期入所運営事業委託料	2,536
○特老「桜井の里」負担金	7,700
○社会福祉協議会補助金	4,456
○保育園運営管理費	270,521
○福祉の集いと敬老会費用	3,369
○老人クラブ補助金	2,673

保健衛生の推進

住民の健康意識の高まりや医療水準の向上等により「人生80年時代」を迎えた現在、健康で夢とやすらぎのある村づくりのため、なお一層の健康づくりと疾病予防に取り組んでいきます。

まず、食生活改善推進委員、保健推進員など組織の強化育成を図り、各種検診や乳幼児・母子保健事業並びに予防接種事業の効率性に努めてまいります。

成人病対策については、早期発見・早期治療による医療費の軽減を基本とし、期治療による医療費の軽減を基本とし、

主な事業と予算額(千円)	
○各種検診及び予防接種事業	25,309
○人間ドック委託料	1,500
○乳児及び精神障害者医療費助成金	3,412
○ごみ収集委託料	25,647
○卷町外三ヶ町衛生組合負担金	105,615

教育

学校教育の振興

心豊かで、創造性のある
ひとづくりのために

学校教育については、まず第一に昨年度より引き続き岩室小学校改築事業の遂行に努めます。校舎棟の建築は、五年度末までに約六割が終了、六年度完成に向けて着々と工事が進められています。今年度は体育馆棟と食堂棟の建築に取りかかりますが、併せて周辺整備事業なども行い十一月末には建築を完了、十二月中に移転作業を行い、三学期開校を目指します。

近年、学校事務機器の近代化が叫ばれています。本村小中学校でも逐次整備を進めていますが、本年度には県教委と学校間等の連絡用のファクシミリの導入を計画しています。昨年度からの外国青年招致事業（語学

指導助手）ですが、国際化時代への語学力の向上と外国への理解を深めるため、引き続き採用をお願いします。

また、和納小学校・岩室中学校のいきいきスクールプロジェクト推進事業（学力の向上——進んで追求・わかる喜び・できる喜び）、岩室小学校の自然教室推進事業（福島県・会津若松市での体験学習）、間瀬小学校の栄養小学校との交歓会も継続して行います。

岩室小学校・間瀬小学校の統合については、平成五年三月の間瀬地区住民の代表による統合対策協議会で否決されたことは周知の事実です。

しかし、平成六年に岩室小学校が完成するに当たり、できれば平成七年四月一日より統合が実現できるよう、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

次に社会教育の推進ですが、日本がこれから迎えようとしている生涯学習社会において、社会教育の果たす役割は大きく、学校教育との両輪として進めなければなりません。基本的な考え方としては、音楽や絵画、村の豊富な自然に触れ、感性を養うような学習を進めていきたいと思っています。

そのため、県費補助で社会教育指導員を設置するとともに、天神山・松岳山城

学校給食センター

跡保存基金を活用して子供会や高齢者組織などの奉仕活動を積極的に推進し、生涯を通じて各年齢層がボランティア活動に取り組むことができる社会的・文化的風土を醸成したいと思います。

また、県立美術館の収蔵作品をお借りして、広く村民の皆さんから鑑賞していくことには、成長発展の途上にある児童生徒にとって栄養のバランスのとれた食事を一日に三度きちんととり、合理的に栄養を取ることは、健康な生活を送るうえで基本となるものです。

給食センターでは、多様な食品を組み合わせ、栄養のバランスのとれた給食を子どもたちにお届けします。

社会環境や生活様式が著しく変化している今日、心身ともに成長発展の途上にある児童生徒にとって栄養のバランスのとれた食事を一日に三度きちんととり、合理的に栄養を取ることは、健康な生活を送るうえで基本となるものです。

給食センターでは、多様な食品を組み合わせ、栄養のバランスのとれた給食を子どもたちにお届けします。

これまでのところ、社会環境や生活様式が著しく変化している今日、心身ともに成長発展の途上にある児童生徒にとって栄養のバランスのとれた食事を一日に三度きちんととり、合理的に栄養を取ることは、健康な生活を送るうえで基本となるものです。

しかしながら、工期からいたしましたとしても年内における事業完了は無理でありますので、継続費の繰り越を予定しております。その他予定いたしました事業につきましても、予定通りの成果を得ましたことは誠に同慶にたえないと存じます。これも議会をはじめ、各種団体機関の関係者並びに村民各位の深いご理解とご協力のたまものです。まずもつて衷心より感謝の意を表します。

さて、平成六年度における国の予算は、政治改革・税制改正等の諸問題から大幅に遅れ、二月十日予算編成方針を閣議決定したところであります。これによれば、今後急速に進展する人口の高齢化や国際社会における我が国の責任の増大など、今後の社会経済情勢の変化に財政が弾力的に対応していくためには、引き続き健全な財政運営を確保しつつ、公債残高が累積しないような財政体制を作り上げていくことが基本的な課題であるとしております。一方、我が国経済は、循環的な要因やバブル経済崩壊の影響等からはじめて低迷が続いていること、今後これを平成六年度のできるだけ早い時期に本格的回復軌道にのせ、平成七年度以降の安定成長を確実なものとしていくことが、経済運営の基本となっています。